



平成30年7月23日

各 位

会社名： 株式会社 小野 測 器  
 代表者名： 代表取締役社長 安井 哲夫  
 (コード番号6858 東証第一部)  
 取締役  
 問合せ先： 常務執行役員 濱 田 仁  
 (TEL. 045-476-9706)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年1月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想の修正

平成30年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,500	500	525	340	29.84
今回修正予想 (B)	7,596	750	770	490	43.28
増減額 (B-A)	96	250	245	150	—
増減率 ( % )	1.3	50.0	46.7	44.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	6,557	45	67	32	2.83

平成30年12月期通期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	900	950	620	54.41
今回修正予想 (B)	14,100	1,050	1,080	700	61.83
増減額 (B-A)	100	150	130	80	—
増減率 ( % )	0.7	16.7	13.7	12.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年12月期)	12,077	182	214	198	17.39

## 2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年度に落ち込んだ計測機器の回復が進み、売上高は予想を若干上回る見込みとなりました。損益面では、全社での原価改善や、平成29年1月より稼働を開始した新情報システムに伴う費用負担の減少、研究開発に優先して製造や販売支援活動に注力したことによる経費圧縮等が損益を押し上げ、予想値を上回る利益となる見込みであります。

通期業績につきましては、計測機器の回復傾向が続くと予想されるものの、特注試験装置は受注が伸びを欠きやや懸念されますが、当連結会計年度の売上となる受注残は一定程度確保していることから、売上高は期首の予想を上回るものと考えております。損益面におきましては、下期は上期に比べ売上高が減少することから収益性は若干下がるものの、コスト改善を継続することから、通期業績予想につきましても上方修正することと致しました。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上